



内二五
2551

蝦夷ちし由人類の紀原考なくけり是れも
文字のつゞきと書あるせるものもなかりし
應永正長よりむすいし逸事しるす受
只アイン等乃言傳ふま
松前^{サッポロ}に於て東の方みち六百里あり
とありしこいつてふは南方
神の國より女神只一人
あやしける舟よめさうれて
漂着し玉へり
その舟に金銀珠玉くらきく乃
器を積てめされたり
け交へ漂着る乃くわたり
風雨と志のく
室あり
食物
それとも
あふ
す
ありき
既
鉄
たの
む
い



牡犬きたり女神か

神の國より女神一人
 漂着し玉へり
 舟に金銀珠玉を
 器を積りてめされたり
 風雨を志のく
 空あり
 食物
 空あり
 既よ
 玉へり
 玉へり

牡犬きたり女神
 心ありてちう訓
 て尾を振り先たち
 竹を舐めつさ
 るくゆけを大なる
 出巖空をいさまり
 茲に入て志を
 ありりもちちの
 大海身走るとい
 魚物海をほもち
 またり山那まか
 木葉草實
 をもちきたりて
 鐵とたより月日
 つもるうちにあや
 子と及めりそれ
 今より孫の葉
 女に女神の血縁
 して男に犬の後

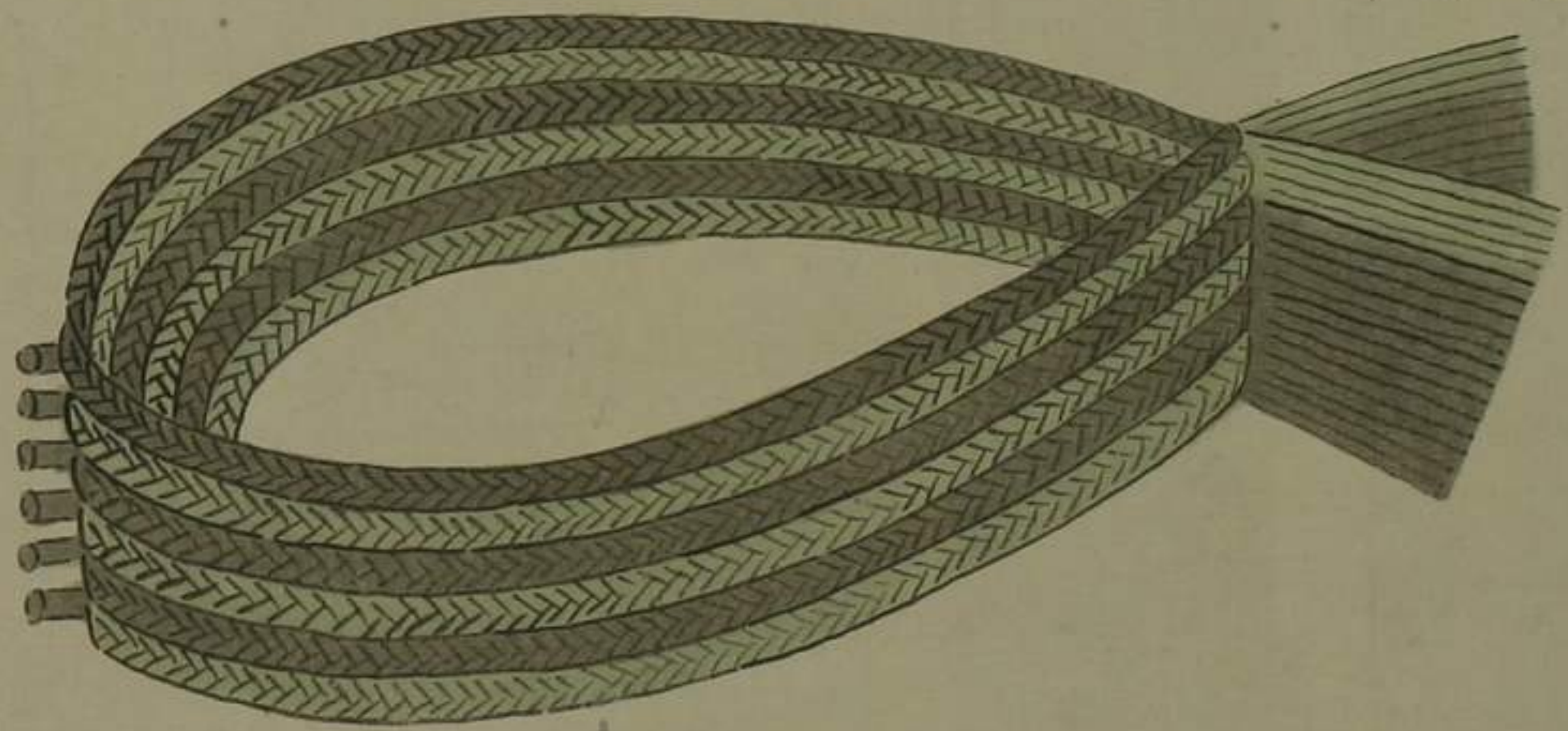
流るるをふいふとサレモヘの酋長
 やいふあるもの話あり



オトナ
 首長は
 熊祭りの時
 かくらぬし

シヤバウヘ

是アイノ冠なり熊マツリ又ハ
ウカリ能ク有る事一ハハ
必冠ニありイナホの如ク木を
削リけりて但てつくシヤバ
トハ頭をりウヘ
集ル事ニありハ
器の通称あり



シトキ

メコ能首ノツケル重器なりかたちと
糖ノ味ニありトナリトナリトナリト
神靈加護ニありトナリトナリト
又禮と正スの第一トナリ



○イヨミンテ又イヨヨミンテ

是蝦夷地の大祭事トシテ熊を殺して神を祀
ルアリ早春ニ深山ヨリ積雪ノ中ニ飼馴
ル熊ノ子ヲ獲テウヘトシテ家婦ニ有テ乳
味ニ以テ養育シヤ長クシテ神ニ以テ進
テ食ハ魚肉トあり冬十月以テ長クシテ
シテ大熊ニ有テ日トシテ酒食を以テ

○イヨマシテ又イヨマシテ

是蝦夷地の大祭事として熊を殺して神に祀
 るる。早春、深山に降り積雪の中、飼馴
 たる熊の子を獲て、水と蜜を以て飼馴
 せしめて、梅雨とや、長らくこれを押して、
 冬十月以後、これを長
 しく大熊とあり、日をとりて酒食をもちけ
 親族朋友をすて、この日の熊は、
 いろくのものや喰せ神に今日
 ヨマシテセリよし、餌食一玉
 とのついで、衆人押さめ、
 躍とわと割り、竹の節、帛と
 あり、垣の如く、たて、
 前ギナと、さ、熊と押
 たり、出ると、あ、乳とあり、
 一、メ、コ、ノ、カ、と、又、古、例
 あり



其時すこやうあり、アイ、熊の両耳をとつて
 こちの、五三人、立、首、熊、三、
 結つけ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、
 り、遊、首、長、山、の、方、む、
 ち、カ、モ、井、レ、セ、テ、ウ、と、
 アイ、ハ、セ、カ、チ、ミ、ミ、
 先、首、長、の、嫡、男、又、ハ、
 家、の、子、射、初、
 あり



其時すやくあるアイ熊の両耳をとつて
 うちのまゝ五人立寄首の網三す
 結つてつちちちちち熊のちた〜と
 むし遊せる酋長山の方よりむし矢を
 うち刀を井しつてセテウと唱ふれり
 アイハセカキまでもみる〜矢を放つ
 先より酋長の嫡男も又ハ熊を飼をたる
 家の子も射初めあり後とをめつる〜
 何うても疵つゝの

時珍曰熊ユウヒ熊ヒ熊ヒ
 三種一類也如豕
 色黄白者羆也
 色黑者熊也大而
 小而色黄赤者
 熊ヒ也建人呼熊
 為赤熊陸機謂
 羆為黄熊是矣
 熊ヒ也建人呼熊
 為赤熊陸機謂
 羆為黄熊是矣
 毛ありて大なるも
 赤い長き丈あり
 人とく〜馬とく
 ぐ〜性の力カ
 猛熊ある〜
 虎豹いものく
 熊ヒ也建人呼熊
 為赤熊陸機謂
 羆為黄熊是矣



毛たてあるまゝ
 熊ヒした〜
 姉ヒした〜
 位ヒした〜
 のこ

狩り終るまゝかゝりて調おく三本の本をひて
 熊の首を本の内へ曳す上より本よりお三
 朋もも横の本を切り大野刺〜り殺す
 熊のぬし時より酋長太刀を鞘のち
 首をあてる
 比内み〜(言葉の定まりけり所あり)

狩子狩をこころし調へおく三本の本をひて
 然の首を本の上へ曳す上より本をひて
 朋も横の本をひて大勢ありのり殺す
 圖の如し時首長太刀を鞘のち
 首をあてる
 比内みおく(雲采の字をぬりかへる所あり)



○ヌシヤサニカタ 祀の場をツク
 タン子ツブエモシのおおじくよ
 おつこーたりをわさり倍
 みおく左のぬく四ふ

我神
 千コルカモイ
 至子今
 タ子ハツク
 為神
 カモイニアヌソ
 逆兄
 オニテコルイタハシ
 再
 シユカニ十
 後神
 カモイニアヌソ
 明年
 ヲヤ
 我
 千コルカモイ
 執之
 クシユ
 今兄
 タ子アキニエヨクタ
 不
 サラ
 ツキナ
 コニナ



タニツツブエモシの教おし
 持ったるをかり侍
 みふ左のぬく四ふ

千コルカモイ
 我神
 夕子ハツクノ
 至子今
 カモイニアヌソ
 逆兄
 オニテコルイタハシ
 再
 シニカニ十
 若神
 カモイニアヌソ
 明年
 ヲヤ
 我自
 千コルサニコル
 就
 クシユ
 今兄
 タ子アサキニエヨコタ
 不
 サラ
 ツキナ
 コニナ



熊の皮を剥て
 三人斗りの杭よ
 かぬせ酒食と供と
 肉にあつものよ
 みふれ小兒お
 一ヶ月も五七日
 此間いこま
 酒宴とあまけ時
 支配人番人あつ
 こと上賓たり





汚役人列座を
酒たを三つと賜ふ
めうさう時ち
オトナよりウタヒ
牙は次第より
ねん〜

堂々然りて
あひむ〜

圓形ぬ
いふ〜敬し
いふ〜おそれ

只フツ〜と
口のちよて
うこめ〜し

みる
大汗を流し
あひむ〜

ねん〜
虫の言ふ
ぬ



おの〜座さすれい汚役人の方へ
途より合掌してそのおれ堂々として
次々を聞き左右揃へて我の額のあつて
さうけい貴人をつたさし上ルやうに
諸手紙か〜甲をむらふさう
フツウとして額の髪際より
髪はのまよて撥おろ〜
又フツウとして
三度かんのぬく
〜して止む



あつむ
れをこころ
虫の這ふ
ぬ



おのゝ座さすれい所役人の方へ
送より合掌してそのすきと忘るすり合と
次手を聞て左右拵て我の顔のあつむ
さけそ貴人をつたさ上ルやうに
備手扱かし甲をむさふさふ
フウとして顔の髪際より
髭の末まで揃おろ
又フウとして
二度かんのぬく
して止む



ムコは禮はてふはくは薄し
只對する人をいんたふふふ
次右の食指を鼻の下と
二度揃
又袖を握り



イクラフニへ

傳曰先王因爲酒禮一獻之禮賓主百拜終日
飲酒而不得醉焉
あいのいイクラフニは禮は疎おれりす
アヤキナをぬりゆ中央にケニクルミトリとす
側よりキタカサヲをおくツキの上よりイクラフとす
主人ツキとすり酒をくすせらるむむい

傳曰先王因為酒禮一獻之禮賓主百拜終日
飲酒而不得醉焉

あいのしイクラフニベの禮ハ殊ニ莊重なり其の
アヤキナを故より少中興ニテニクルニトリとす
側ニツイキタカサヲとおくツイキの上ニイクラハとす
主人ツイキとさるり酒とすサセ客ヨむうい
一揖と客ホ手とすリ合セフツラと答禮也
主人もつうらと但ニ靜ニと答禮と

かこの如くして客の前ニ出

客主人の左におののちと

うやうやと一揖して客ニ

下におきツイキの上を回たり

左者しイクラハとさるり

先ニ酒とすく日輪

供し次山海水火の神と

外諸靈は供し終れば

主人ツラウとして客とす

合と客イクラハと白景の

下の盤とあけてのむ何れ

大盃とせし三ツのこほし

呑飲れ客ニサセ主人の

おのれ禮とすめ客ニ

酒とさくかてを上げ

者と答ふ



リムセテホありと舞躍のるをツハ酒たけを
及んで客ニ酒とすめ即座と立てて舞踊

是振舞の古意



リムセにコレホイセホリムセあるがかり
今圖をよみ俗の免の舞とす
ツラウとして免の舞とす
たんに成也のてんと志とす
二舞あるのちハ大盃と
りてそとありて
踊るありあり



○ 鰻 鰻 雄とウ子オ
雌とホニブ

冬十月より春三月月日すまよきくむるの候
とよきものてハツとて他の漁とわたりをりて
大事なるものてハツとて他の漁とわたりをりて
舟と清浄なり本幣神酒とて海神舟
神をまつりていふこといふこと家の婦人食
るさし静し物音を禁せしれをウ子オ
驚て眼をさすことと漢具の出し入も忌なり
静しせしれと獲るる候と

天より晴てあつりな

於日ウ子オ浮遊と
その側よハ必アサヲと
いつる名前のぬきと
つたり守護とぬ
し夷その鳥とん
舟と漕ぐとん
静しその間凡十間
斗りホリハ十と
擲て獲る

大ニ四尺あり又二種
オ子ツツとふりり
かたち相似り
長七尺程すつり
ヲコレリ島より出
尾 鱈すこ
異なり



獲るて運上家へしれを米酒鈔
たてこの類をよまのせとあたふし
他アイ人共の米ハ二種とを依り

獲りて運上家へつれそ米酒鈔
 たゞこの類を少くせしめあたふし
 他一アイノ昔の米ハ二升とそ依り



甄權曰脛膺臍是新羅國海内狗外腎也
 連而取之
 李珣曰按臨海志云山東海水中狀若鹿形腹
 似狗長尾每日出即浮在水面當此崙家以弓
 矢射之取其外腎

宗奩曰今出登萊州
 其狀非狗非獸亦非魚
 也但前脚似獸而尾即魚
 一統志云脛膺臍出真

二日馬按之みる臍と
 腎と相混したるなり
 新羅今之朝鮮なり
 登萊山東萊州
 朝鮮なりと
 生女其ハ日本の
 俗稱なり諸支
 那人也日本飯夷



上支齒

甄權曰温胸臍是新羅國海内狗外腎也
連而取之
李杲曰按臨海志云山東海水中狀若鹿形臍
似狗長尾每日出即沒在水面皆崑崙家以弓
矢射之取其外腎

宗奭曰今出登萊州
其狀非狗非獸亦非魚
也但前脚似獸而尾即魚
一統志云温胸臍出真

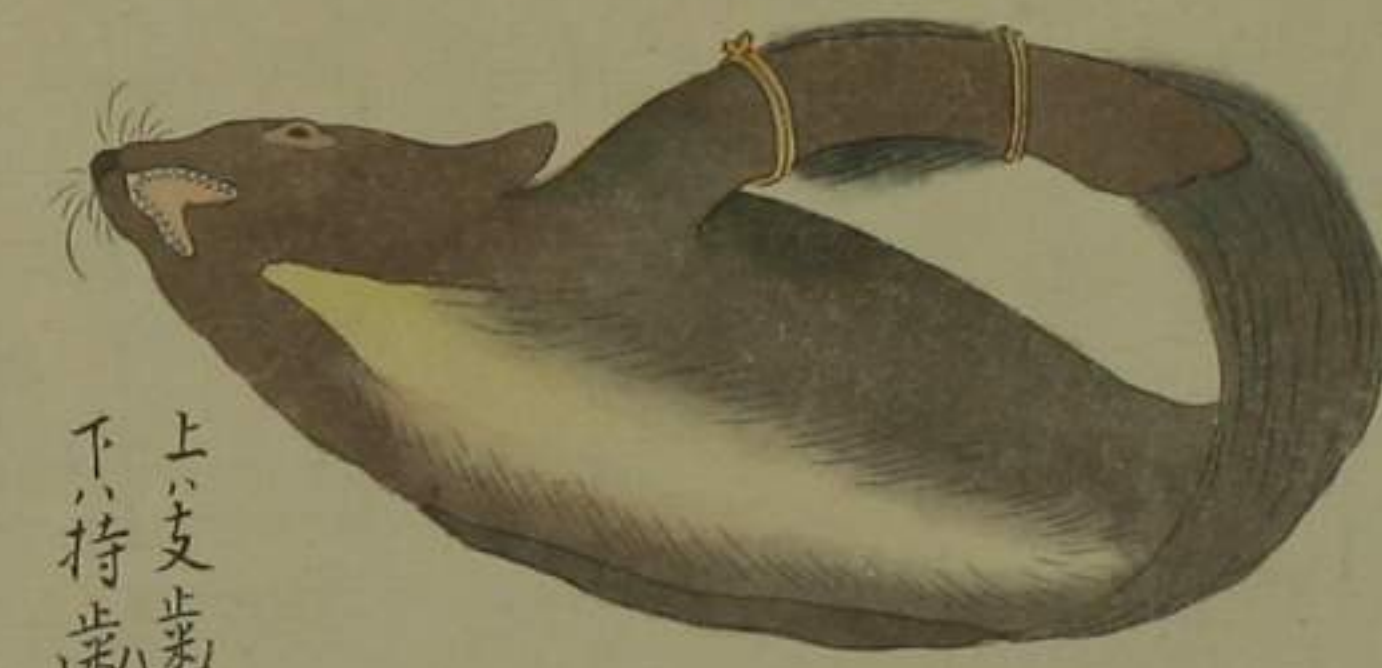
二日馬按之みる臍と
腎と相混したるあり
新羅の今の朝鮮より
登萊も東萊と

朝鮮よりいり
生女島は日本の
分福より借支
那人も日本飯美
島より出るといふ

さうなり故に明
の未だいりて國
性命の父鄭
芝龍よりいふ
温胸獸ともいふ
日本へ流すなり
しめて明史よりいふ



メケリノ圖



上は支齒より
下は持齒なり

獵虎圖 清人文字図なり今之を引用す

ウルクツ嶋又ラツツ嶋ともいふエトコフ嶋あり
東北の方二十里より最上徳内常
矩よりめづる海に地圖と制をせり
キイクラアエトコフクナシリ等の
アイヌ等初夏の頃よりけるあり
通ひて獵虎とせ獲る
長大なるもの六七八人毛厚く
縦横上下よりちりり色は黒
あり席草の絶品あり

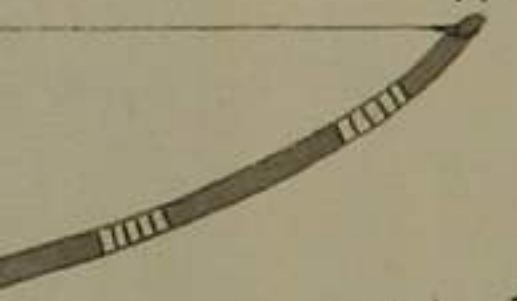


海よりいひて腹と
くはかりて海遊と
嶋山ものなり

下

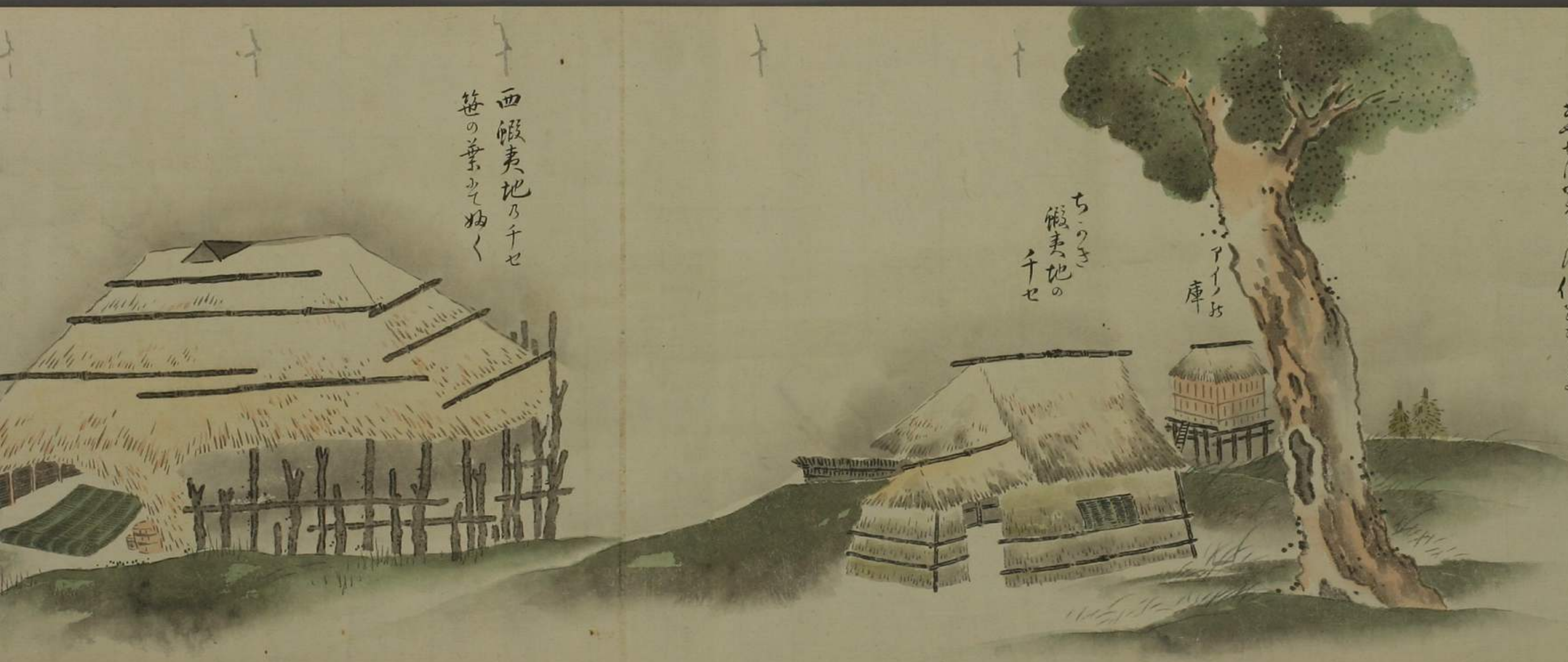
クワアイロウナ
弓矢鞞之圖

鐵の熊笹の根よりして作る
弓は丸ごと一本を竹箱籠造りて
ヲニコウと云ふ樹なり



フシヨロ

熊皮より



西蝦夷地の千セ
笹の葉がゆく

ちのつき
蝦夷地の
千セ

アイノオ
庫

粟稗の糠を家おろし初すてこを
定ぬたろく西粟稗の神の制衣し五つとて
イナホとたてをあり
シモあやちて中場へ不降と
あやせほのるしは債とこ

より園のぬくもをみて漸く
顔をあせ次々膝をすまを
肩のくみ筋をのせりて
さめしと涙を流し
あせしとせりて
や、りしてま退きた
かひの何れとも
のこり



アマブ
 山中野郎のオノノ図はねくるる
 弓を引けおく是とアマブとふ
 こつたるふよささくればあ
 毒矢たのれと散しん
 獸即斃る



西蝦夷地乃千セ
 笹の葉をてぬく

熊の柵



ちのつき
 蝦夷地の
 千セ

アイノ
 庫



アマブ
 山中野のオノ園はれくる
 子と叫けおく是とアブとふ
 こくたるふよささくれば
 毒矢たのれと昔く
 獣即斃る

アブアツれくまふ必イナホと
 桐と括つけ長く
 人よあたるぬき



カ
 寫真
 俗ハアイさみせんく鳴れ
 五信あり有虞氏五信琴の



カ 寫真

俗にアイミせんといひしも
 五弦あり有唐氏五弦琴の
 遺製なりとや東為と地
 絶てり西為と地あり
 調子ハ平徴
 一三目四一段上二五目
 左右の食指と
 もとくす



足高蜘蛛音
 造高島音
 軍高河音
 造高泉音
 大山陰水音
 鯨神海音
 造嶋神山陣列音
 けふも侍れも略



モセキナ
 麻の類
 廿五糸とて
 錦とす



メニ世の草水と顔より
 未世世の草水と顔より
 聲とかけしけり

ハコ世の並み出て水と顔よりハ
 氣絶せぬやうハウタキ
 聲とかけこそげすむ

ウカリ

密夫あゝい不法の子せしも
 大抵たりしものをせし債を
 そのち議論をし

志うれしも持てるもの
 ウカリせんしふ

其時ハ能く方の親族
 たち合せて三尺余の
 大なる根を

脊中を三ツ打り
 又その相人も三ツ

只一打ハ死をせしめ
 生涯のかりしもの

ものも何り
 故に家ハ小
 木の根を叩
 きてより

こゝろて
 稽古と
 ねくあり



マキコル

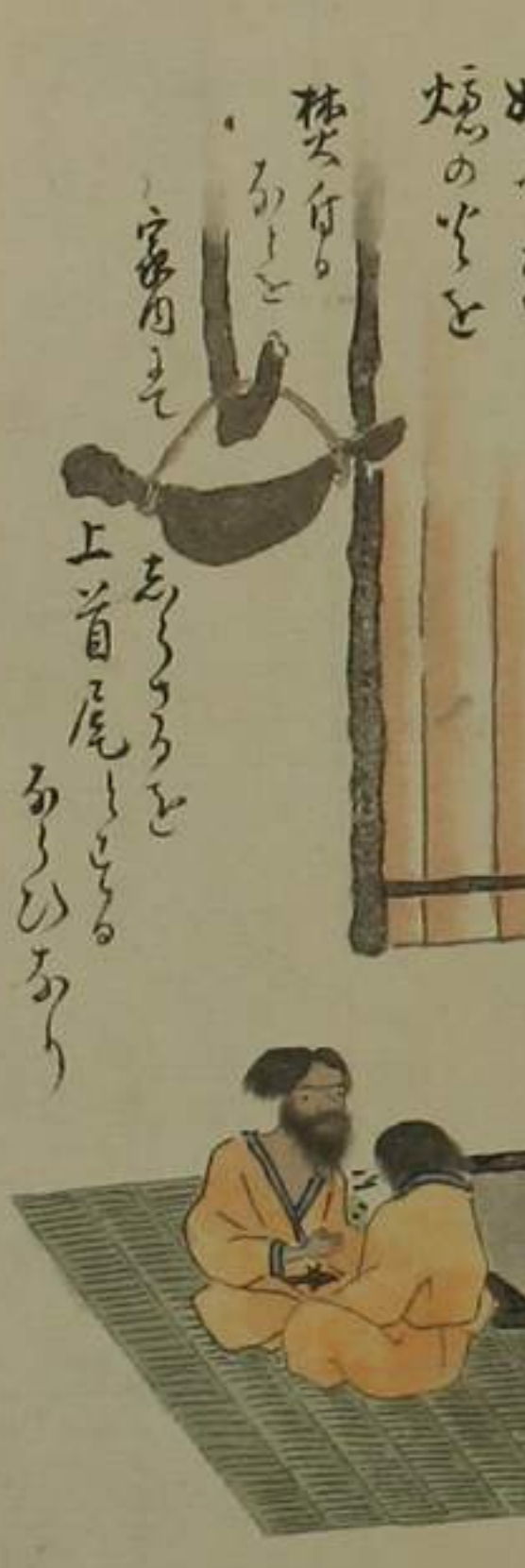
マキコルといハ婚姻のことありその親の意をまかせしと
 小児の時よりしるすけしむも何り又壯年より及てむり
 ぬも何り徳も何り食福上下の何りて結納の品ハ
 かりれし大抵太刀一振とをも妻ハ持しれし風
 俗なりかのしるすけしむりて女子ハ成長しれしを
 引とるしその家よりして夫婦ハ何れハ
 海漁山樵の事改てけむ其利を
 買姑りし手付ふし何りて此の諸の
 稼りて世とほしぬ

借嫁姻の頼り人な婦ハ
 伴いし其家より其のまを嫁人
 のまをいふかまはく何り
 姑もあはぬ所とる

ましとぬ
 何りして

時候の世とあり
 して居る間小夫の世は
 おきつる故よその夜ハ
 心りしと

婿ふし何りて
 婿のまを



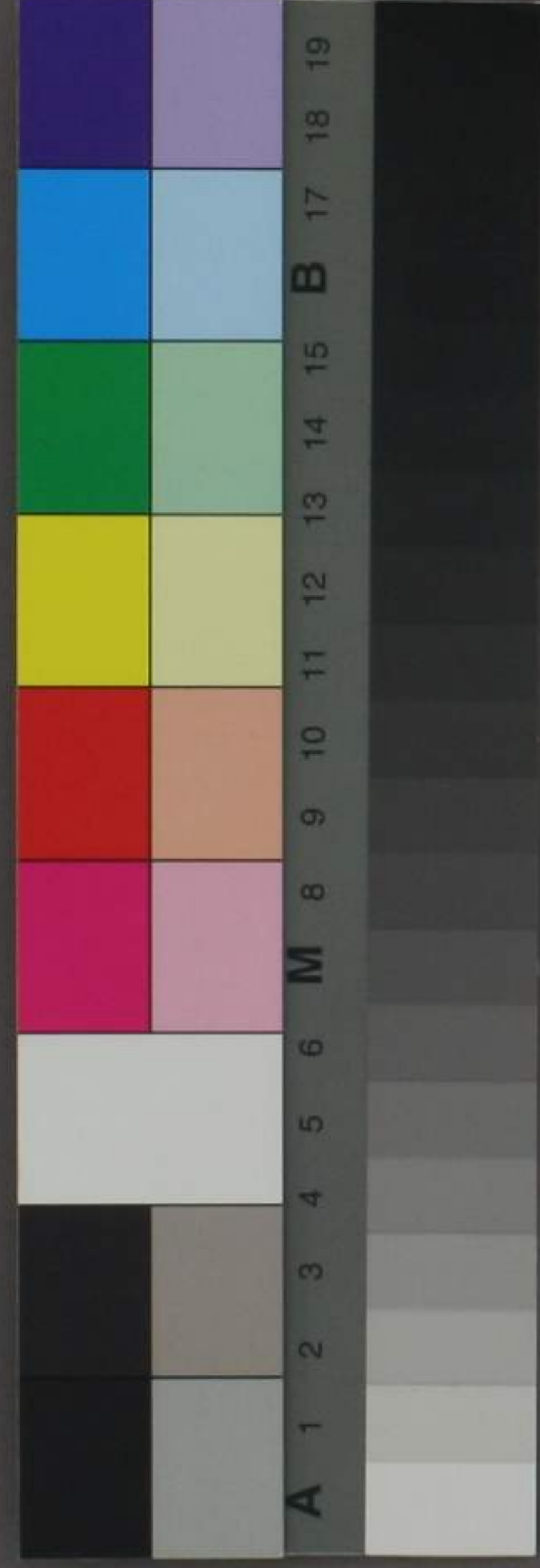
其村に僅方の親族
 たち合せて三尺余の
 大なる根を以て
 脊中と三ツ打り
 又その相人も三ツ
 打りて柔弱なるもの
 只一打小死を以て
 生涯の命を以て
 命を以て
 故に家々小
 木の根を以て
 是を以て
 かくれて
 秘言を
 かくり



二千コル

二千コルとい婚姻のことありその親の意を以て
 小児の時よりあるは又壯年より及ぶむ
 亦も有り徳も亦も貧福上下ありて結納の品ハ
 かりれも大板太刀一振とをも妻に持たれも風
 俗なりかのいふ所せし女子は成長をれを
 海漁山樵の事致しむむ其利を
 男姑り手付ふりしりし其諸の
 稼りて世を以てぬ
 借婚の報に埋人を婦乃
 伴ひて其家は其を嫁
 のいふはかゝるはく思
 姑も亦もぬれを
 ましぬ
 ありて
 時候のせしるは
 して居る間小夫のせし
 おこつる故にその夜は
 煙乃火も出よと
 と心なり
 娘ふれんとて
 煙のせし
 禁
 家内
 上首尾





蝦夷島之奇観
麦ソ団入り

二16
2581

